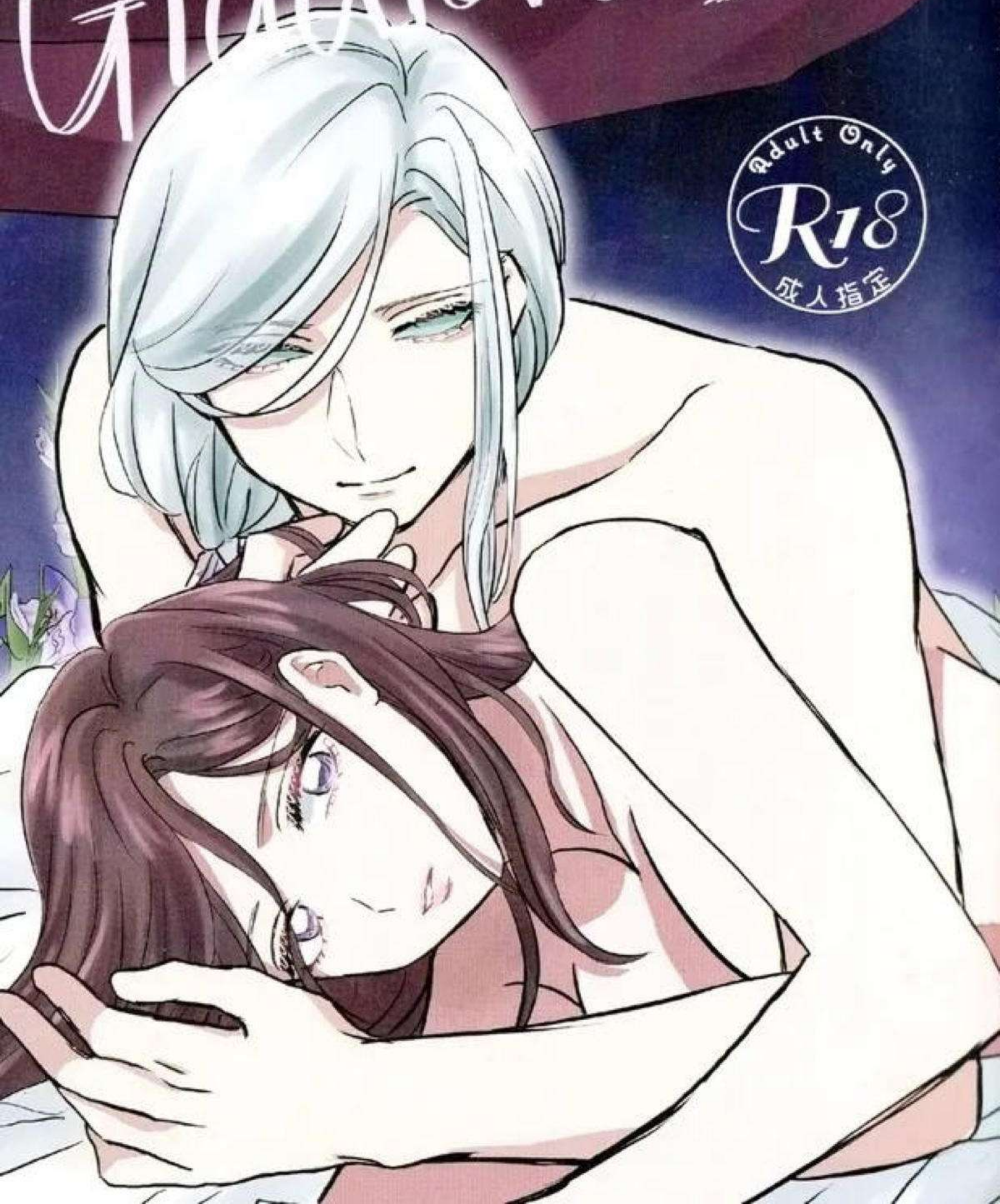
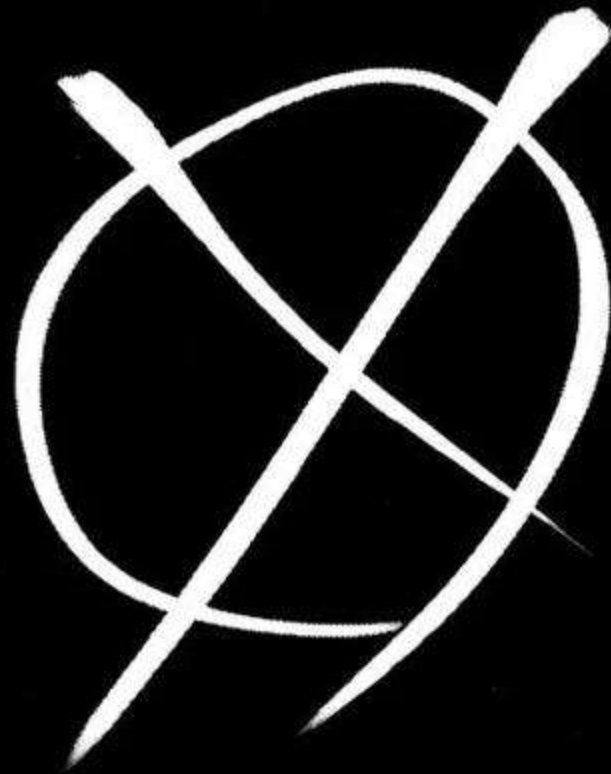


Gladiolus.2

Adult Only
R18
成人指定



ゲームで脱出出来なかった
者がどうなるのかは
良く知らない



ただ恐ろしい鬼に追われ
傷付けられ、ふざけた椅子に
括り付けられてどこかへ飛ばされる

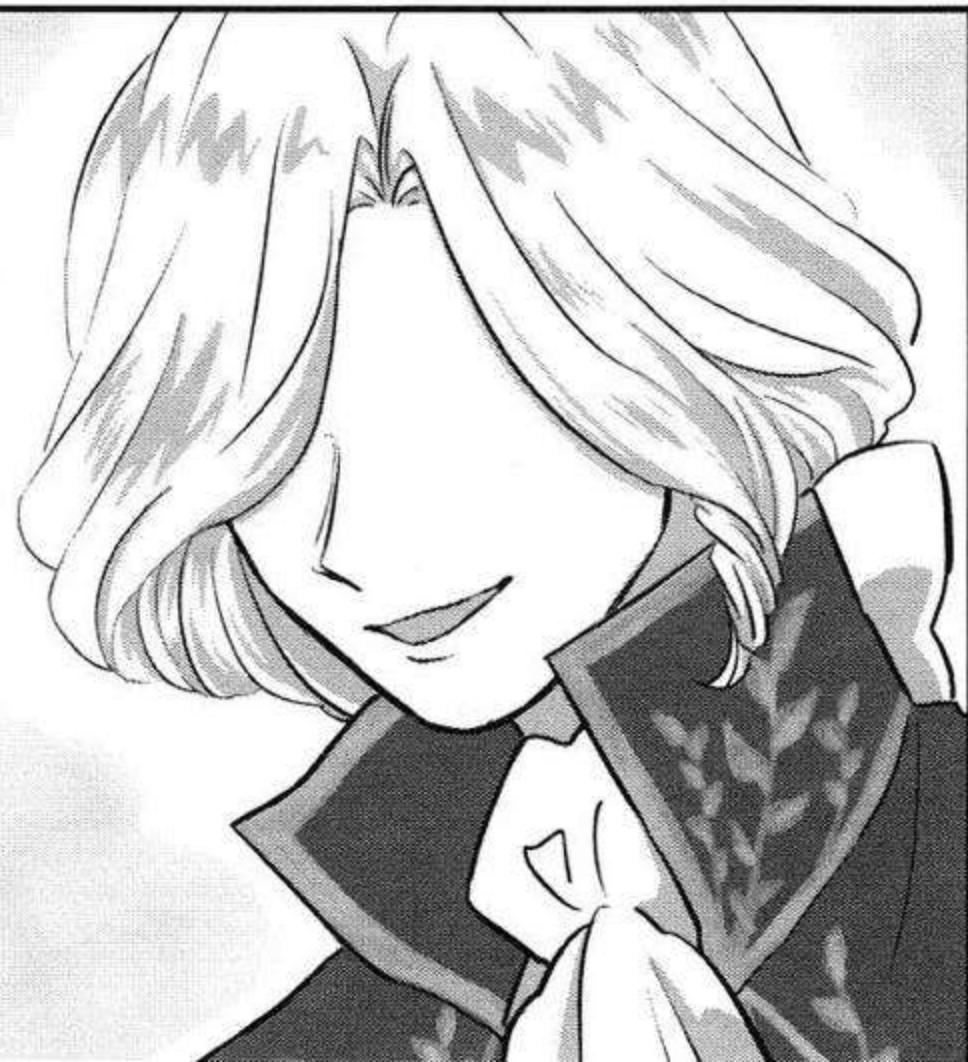
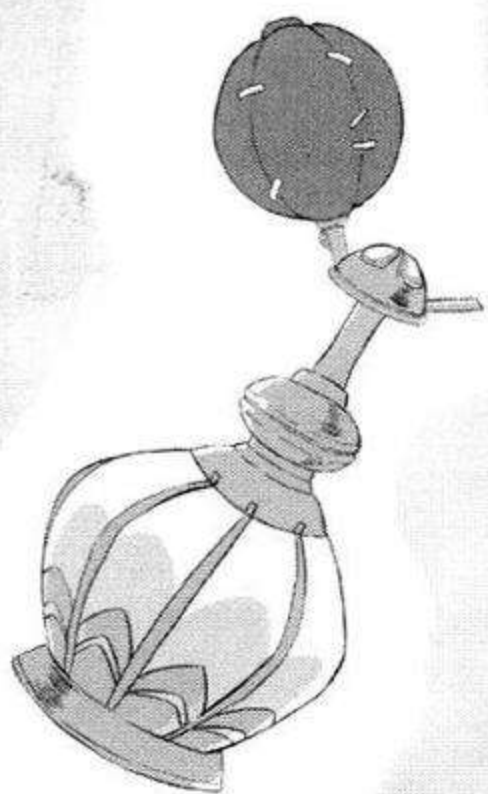
目を覚ますと屋敷にいて
傷はいつも完璧に処置してある

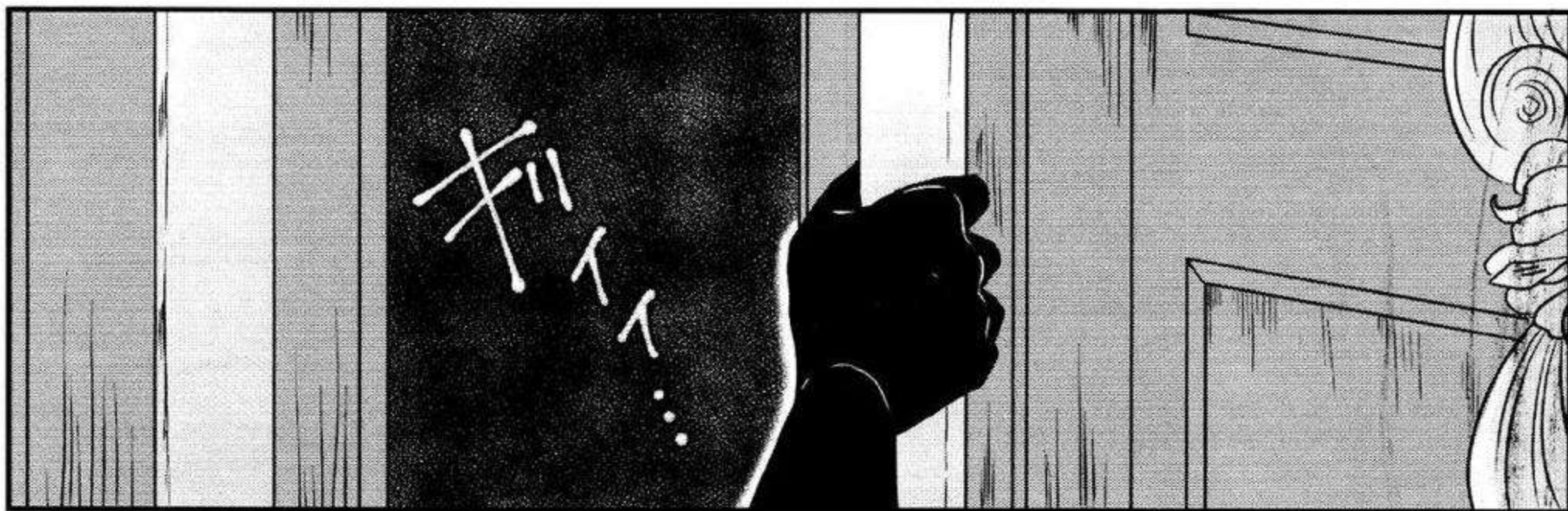
用意された各ステージから
脱出出来たとしても
このエウデュリケ荘園から
出られるわけではない

本当の意味での脱出は
現時点で誰も出来ていない
私達はただ淡々と淡々と
ゲームを続ける

そんな恐ろしい日々の中で
唯一私を私でいさせてくれるもの

それは……





ゲームに参加したことも
ナワーブさんが飛ばされて
ヘレナとクラークさんが
逃げたことも
覚えているけれど



ウィラッ!

さっきは
ありがとう

怪我は?
大丈夫?

大丈夫か?

ウィラさん

わい...

すまない

私の不注意で...



私：確か
クラークさんを助けて
そのまま…



しっかし
強いよなアイツ！
ホントむかつく
野郎だぜ

パンスト



隙が無い
かなり余裕そう
様子だっとな
その気がな
全員あいつに
しれないうた
かもし



私
あの人こわい…



…そうね



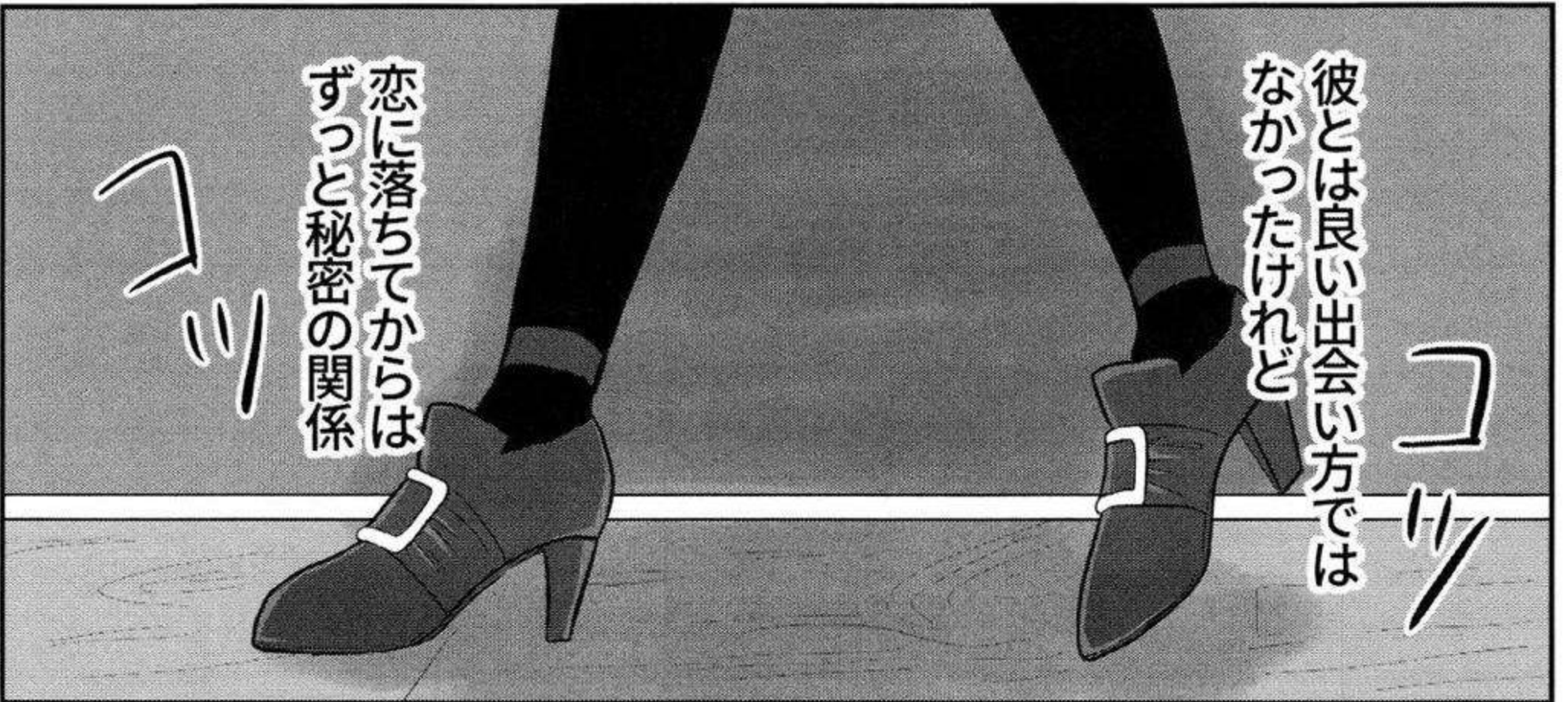


そう、彼はとても恐ろしい人



でも私の愛する人

私達の間係を知る者は
一人もいない
お互いが庇っては
いけない存在だから



彼とは良い出会い方では
なかったけれど

恋に落ちてからは
ずっと秘密の関係

コッ

コッ



ガチャ



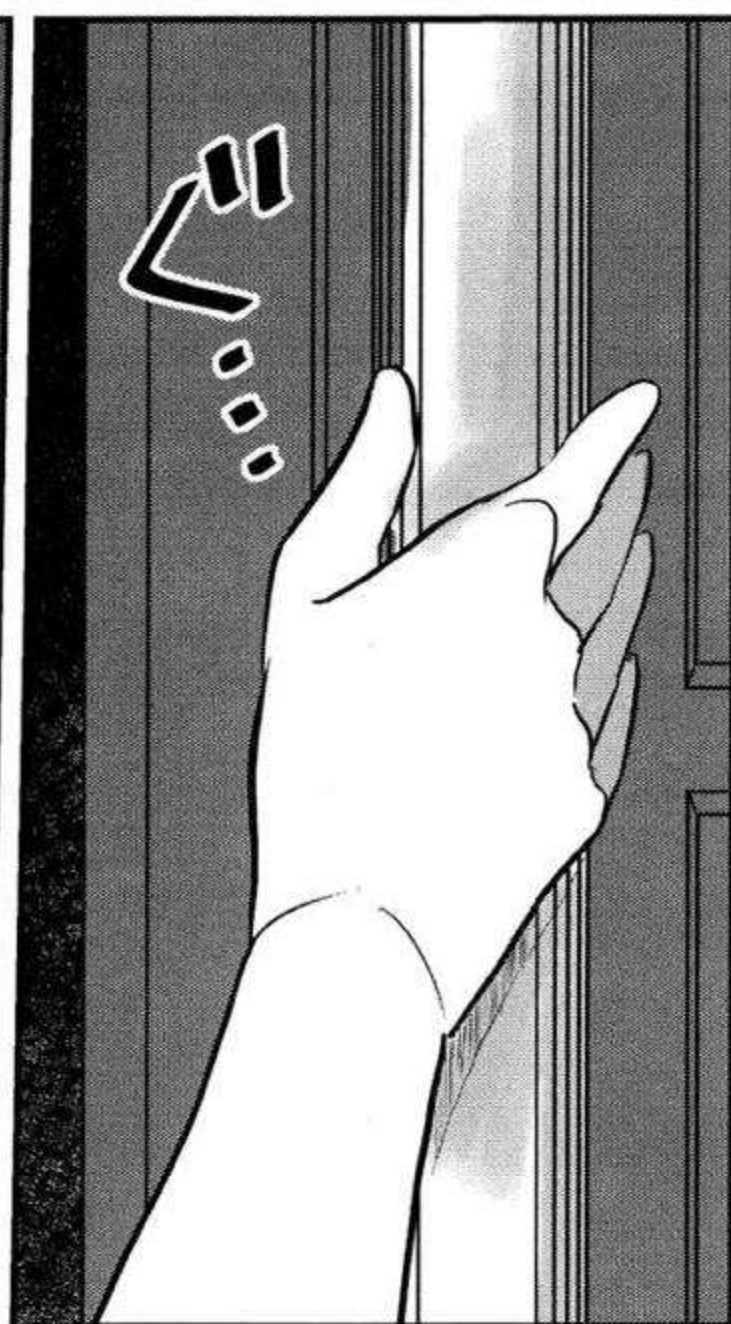
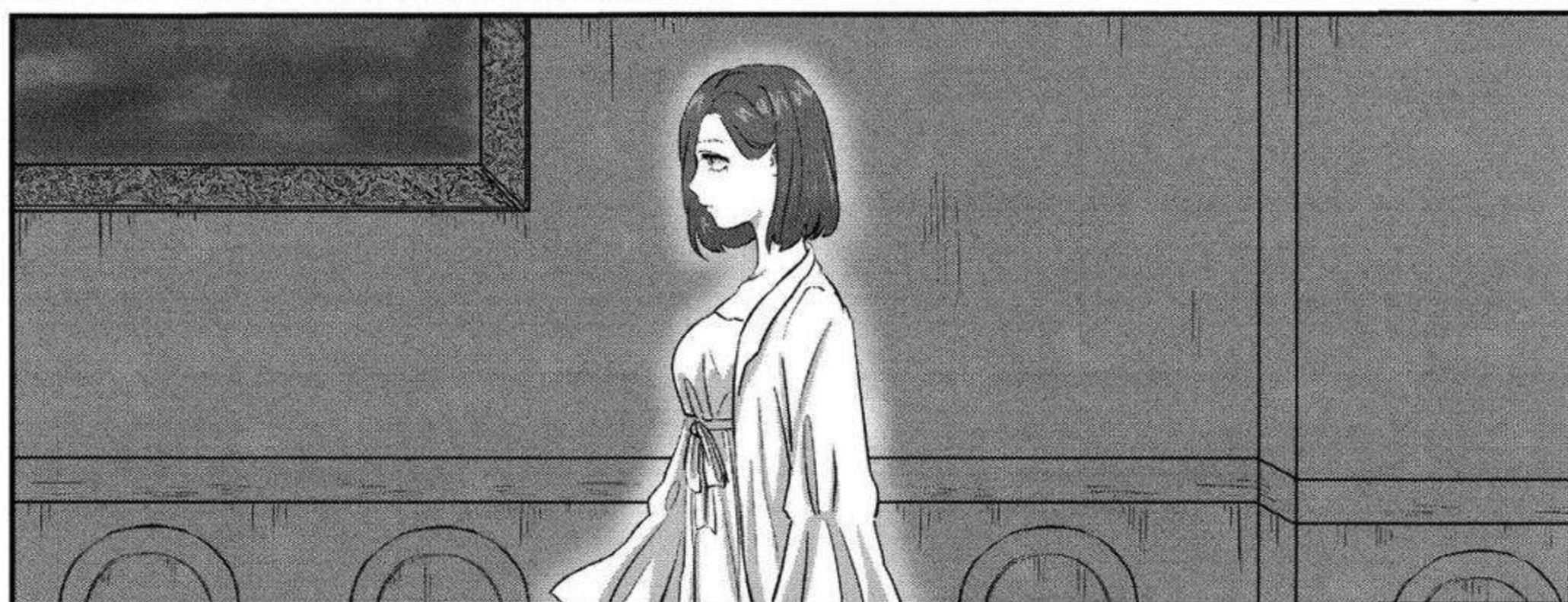
私はあなたと
この香水さえあれば…

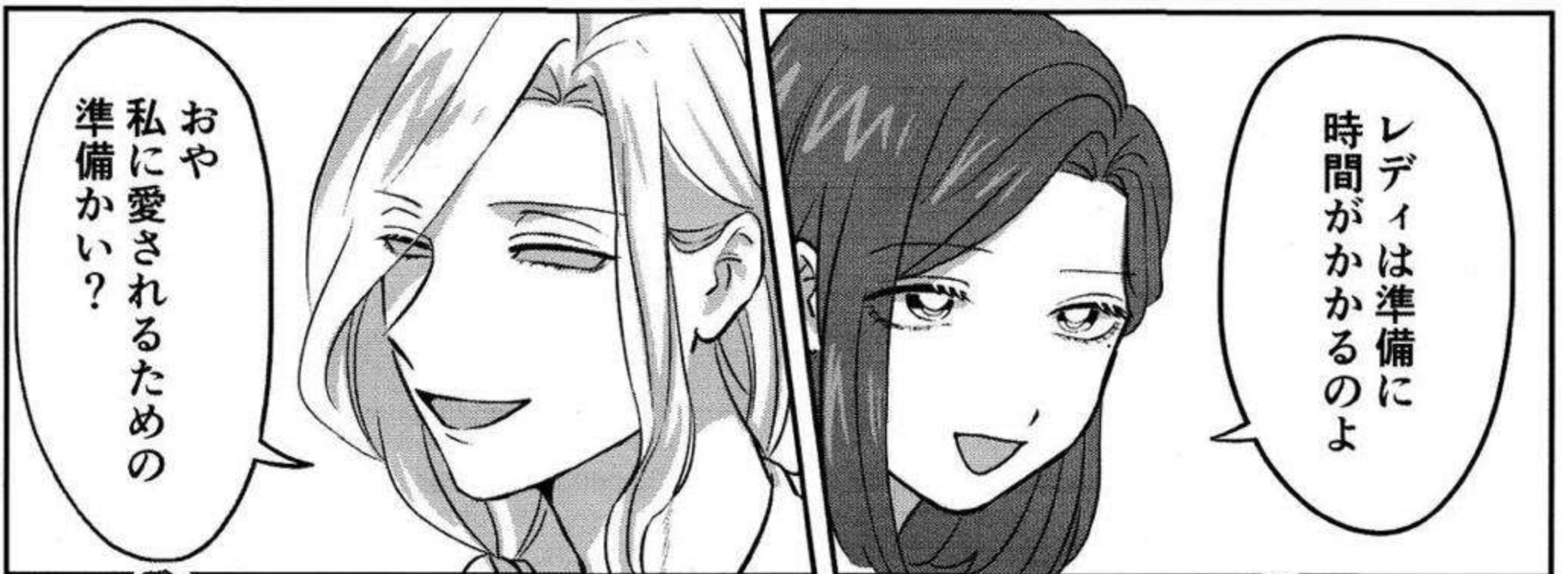
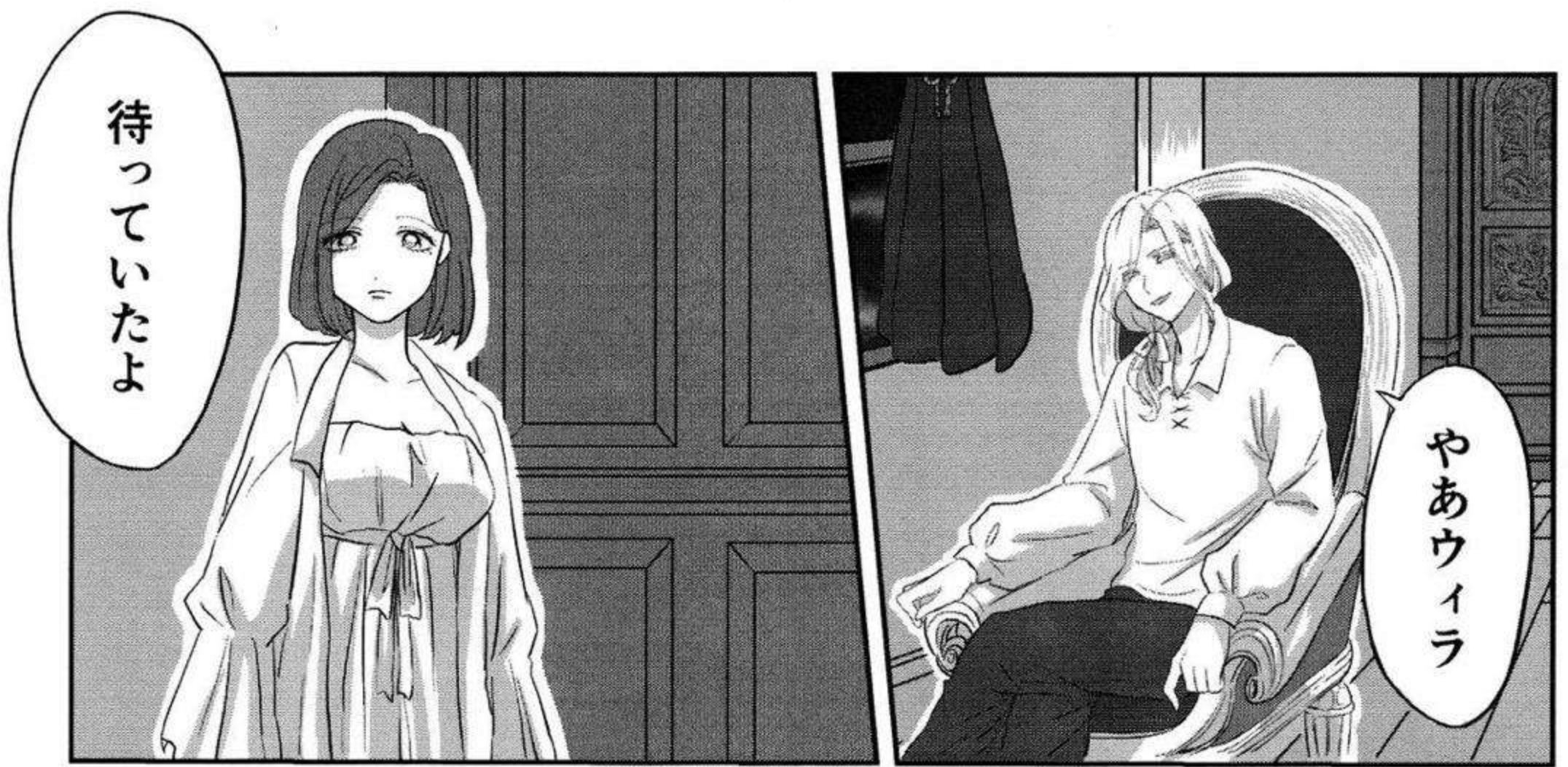
でも…

きゅ

言えない…言えないわ
ヴィラである
私を愛してくれる彼には…









君の慌てた
顔が好きだね



わかってるのなら
からかわないで頂戴



それより
傷はどうかかな？

あまり深く
ならないように
努力はしたのだけど



…そう

私は…本心を言えば
君にはゲームに
参加して欲しく
ないんだけどね



“おかげさまで”
もう傷は閉じたわ



…私が傷つくから？

それもある

……

おいで

ウイラ



…またあの
香水を使っていたね

あれは私の傑作だもの
何度だって使うわ

徐々に記憶を
失くしていつて
しまうの？

……

そう、確かに私の記憶は
断片的に欠けている

今はまだ誰にも
気付かれていない
だけ何故か
一番忘れた記憶は
日に日に鮮明になっていく



構わないわ

むしろ忘れてしまいたい
“ウィラ・ナイエル”になる
には今までの
記憶は邪魔過ぎる



寂しいね

私もいつか
君に忘れられて
しまうのだろうか



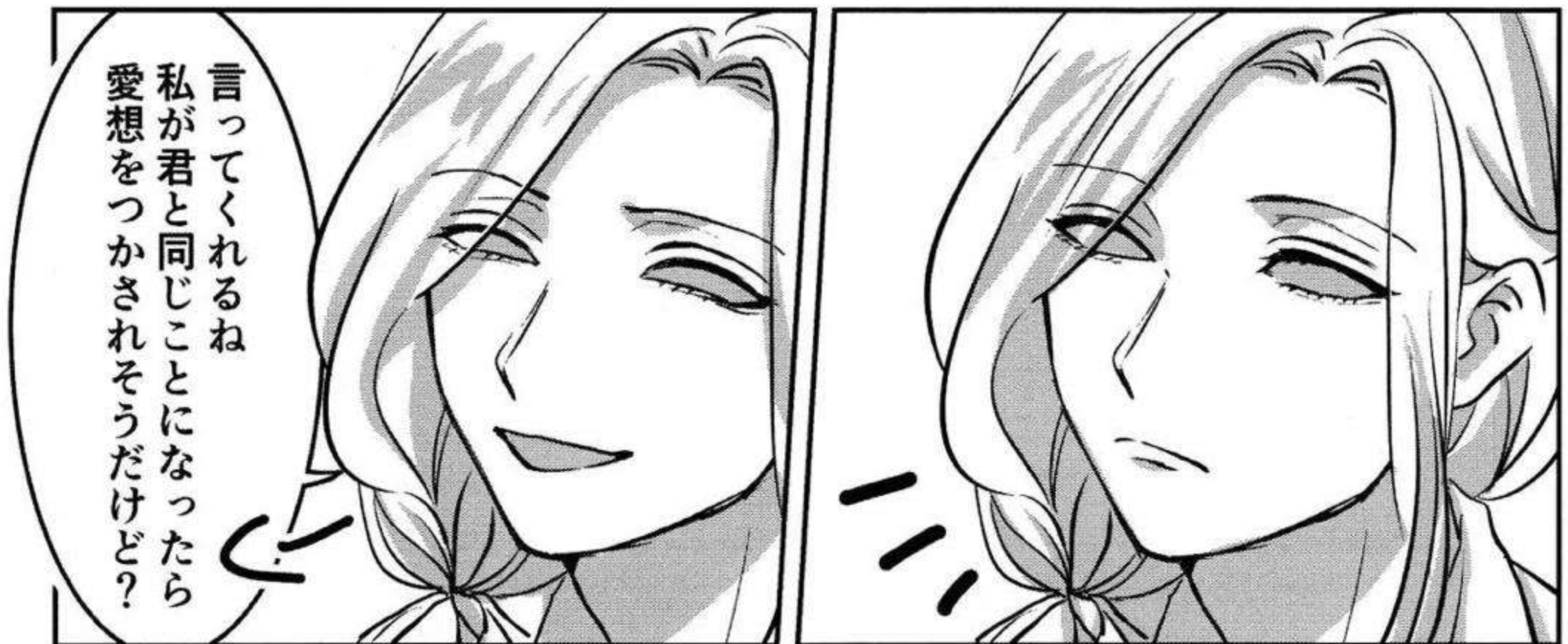
しゅ



その時は
もう一度振り向かせて
みせて頂戴？

私を落とせるかは
分からないけど

過ごした時間を思うと
ほかの殿方より有利だわ



言ってくれるね
私が君と同じことになったら
愛想をつかさそれそうだけど？



当たり前よ
貴方が私を忘れる
のは許さないわ

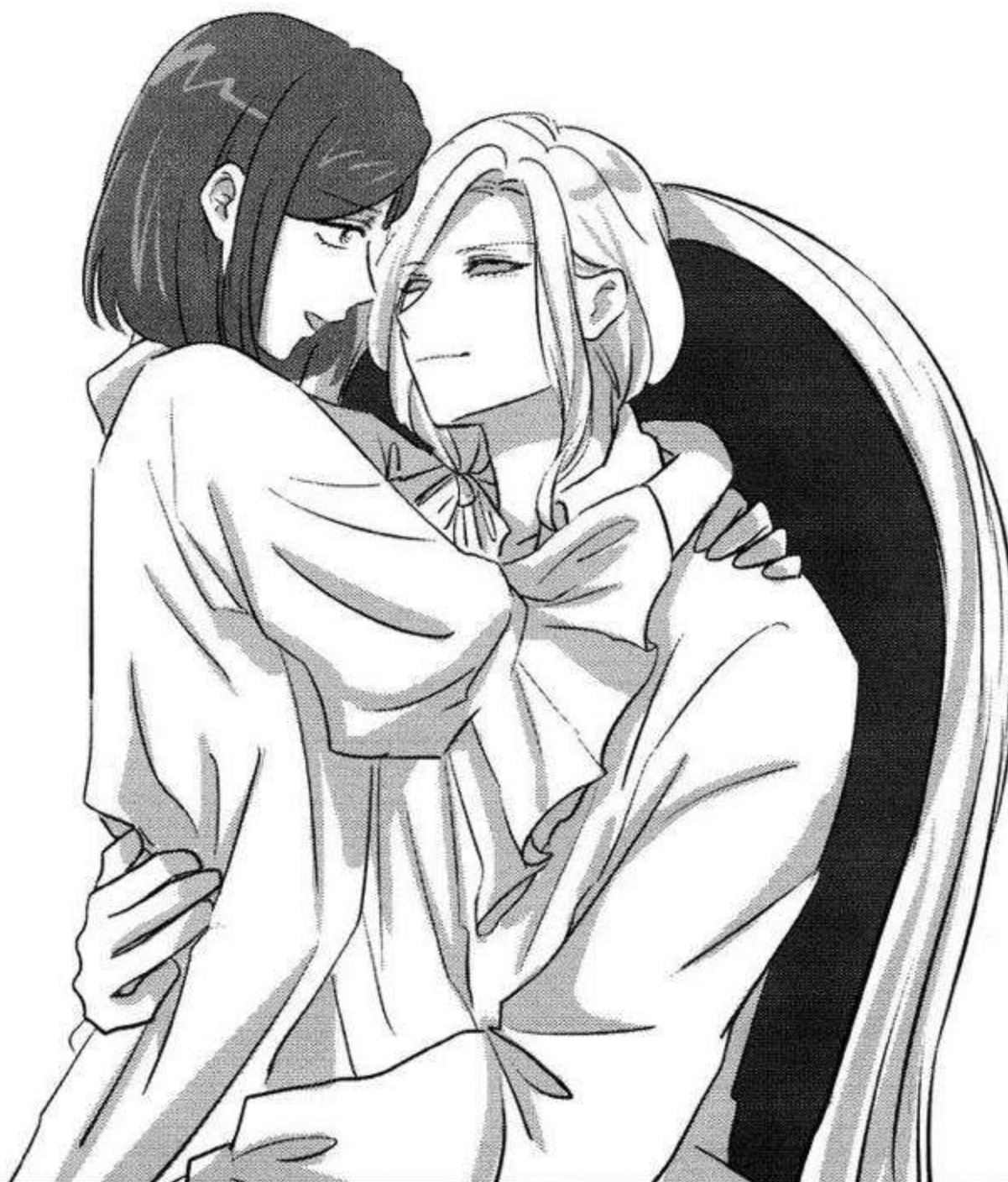
フッ
まったく
困った女性だね



…君が私に
隠していることは
教えてくれないのかい？

なんとでも
仰って

…今さら何を言うの



レディには秘密の一つや二つ
あった方が魅力的と言うわ

まあ

あながち
間違っではないないよ





だけど

んアッ

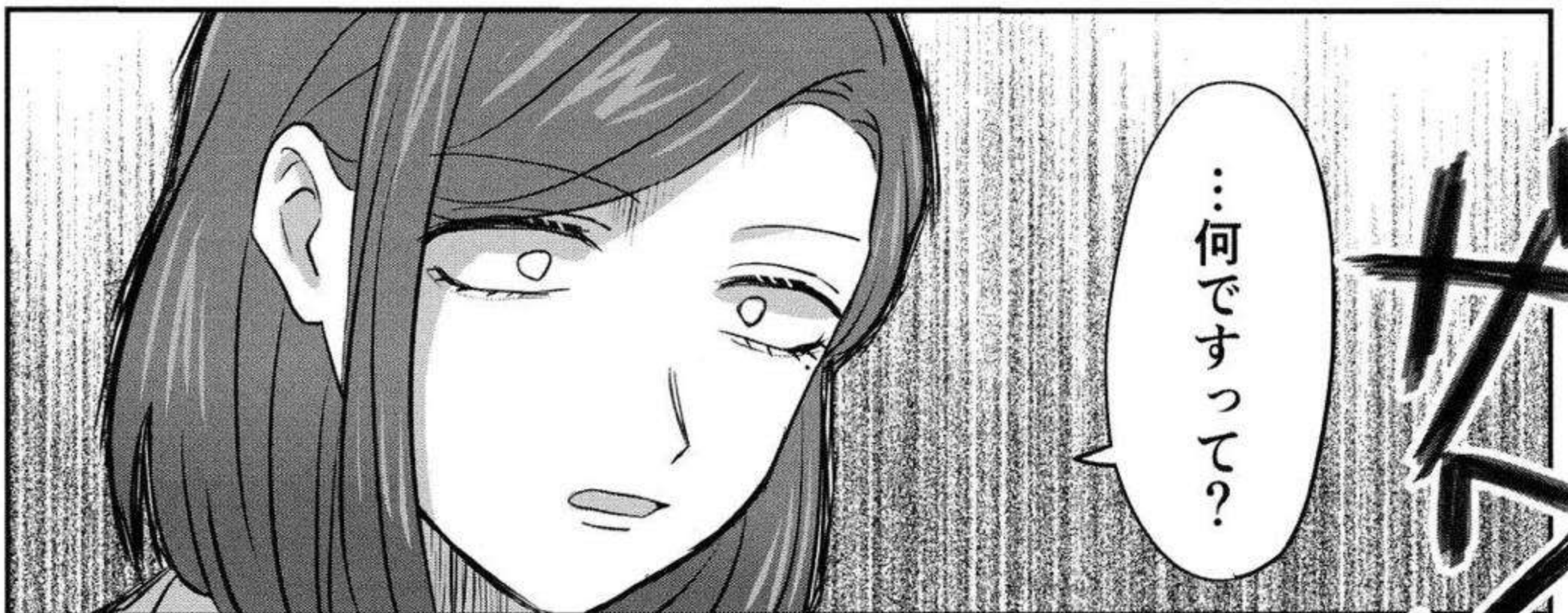


それはきっと
君が思うほど
大したことではない

私にとってね
私は「君」という
人間を知っている

知った上で今
こうして好んで
君に触れているんだよ

クロエ



…何ですって？

ザ

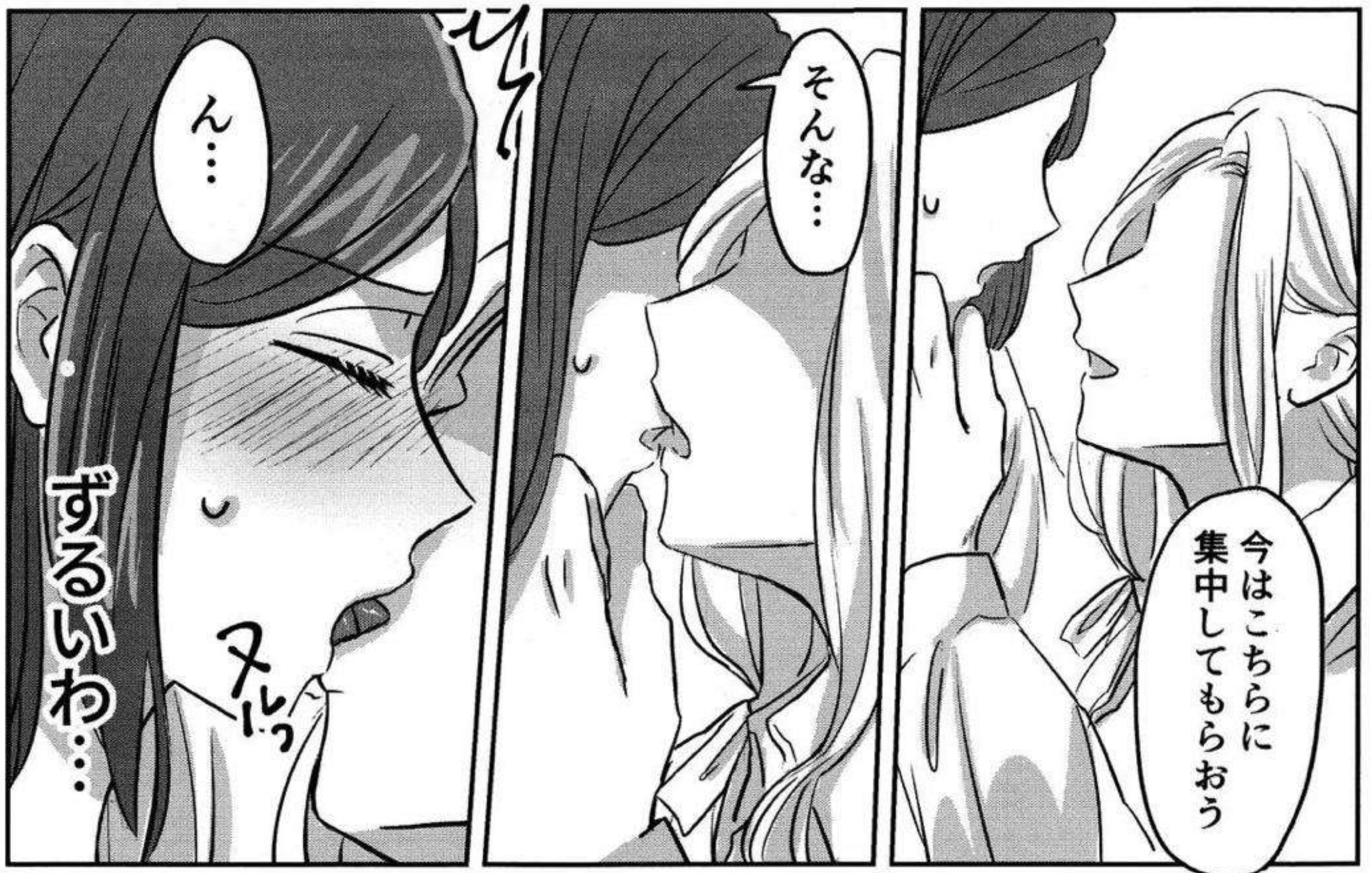
私達ハンターはね

ほとんど面識の無い
君たちを容赦なく
攻撃できるように
君たちの犯した罪や
後ろめたい過去を事前に
知らされているのさ

君たちが何をやってきたか
私たちは知っている

一人一人の罪を憎み
哀れに逃げ惑う君たちを
傷つけ、襲い、それを繰り返す
それが私達に与えられた役目











知らないふりを
していただなんて
まるで弄ばれたようだわ



失礼だな
私が特別に思っているのは
今ここにいる君だけだ

弄んでなどいないよ



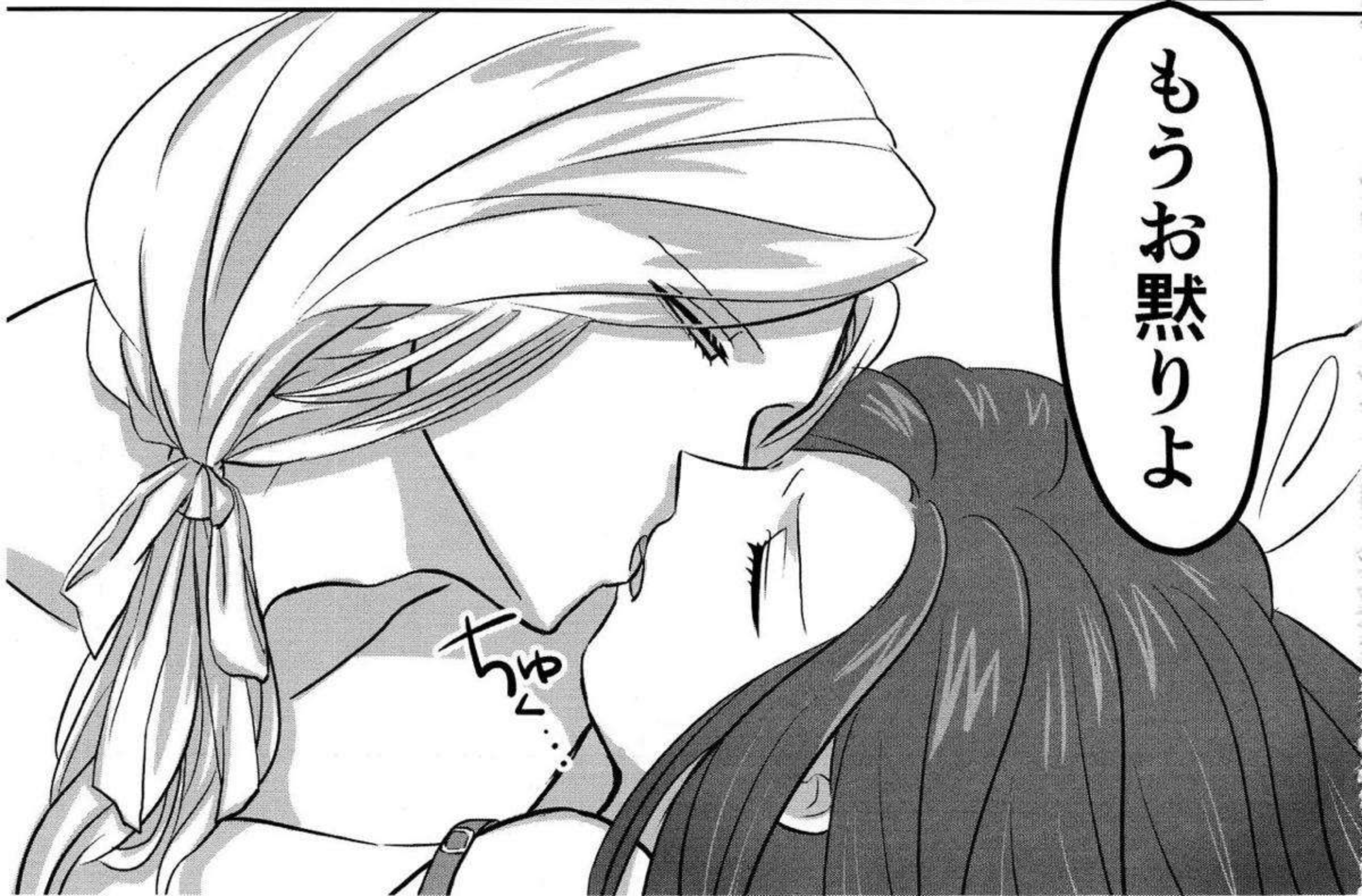
言っただろう？
私も他人のことを
言えた立場では無いんだ

？……



それに、普段強気な君が
過去に負い目を感じ
弱気になるのを見ているのは
なかなかくるものがあるよ

本当に性格がを悪いわ
あなた



もうお黙りよ

んや...



薄くなっている…
けれど、君の陶器のような
美しい白い肌に傷を
付けてしまうとは

つくづく私は
罪深い男だ

ちゅ

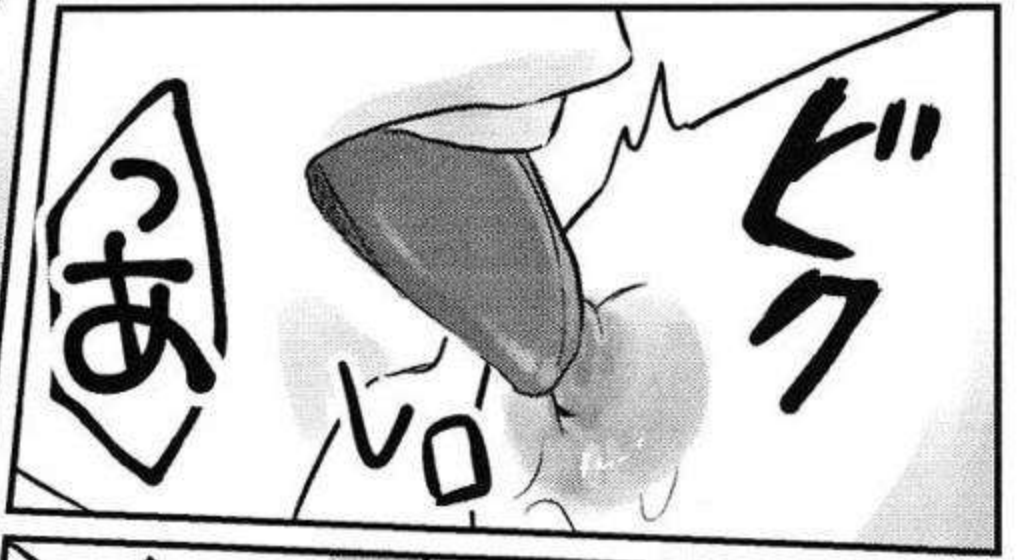
ジョー…

きゅん

ちゅ

くた

あゝ



君は本当に綺麗だ

ウイラ



今だけ…
クロエと呼んで…

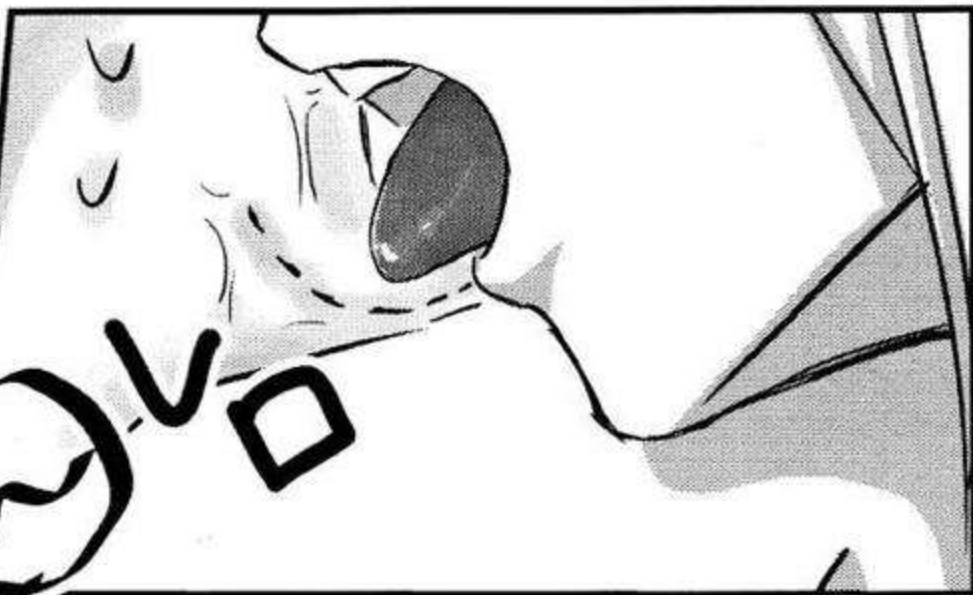
今だけで良いから

……ホッ……





あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー



んー
んー



んー

んー

んー

んー



美しい私のクロエ

あーあーあー



あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー

んー



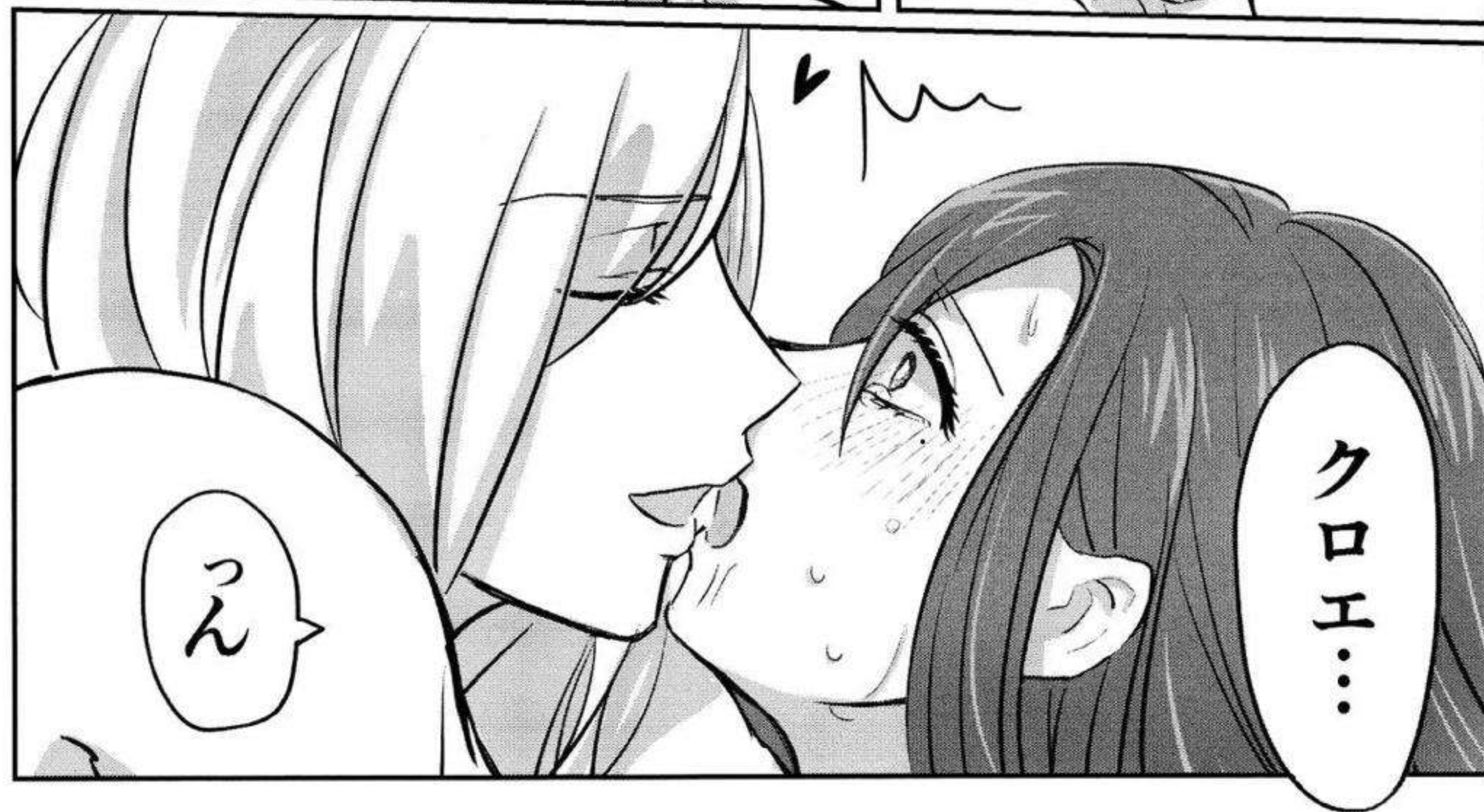
あーあーあー

あーあーあー



あーあーあー





ジョー！
お願い…



おや

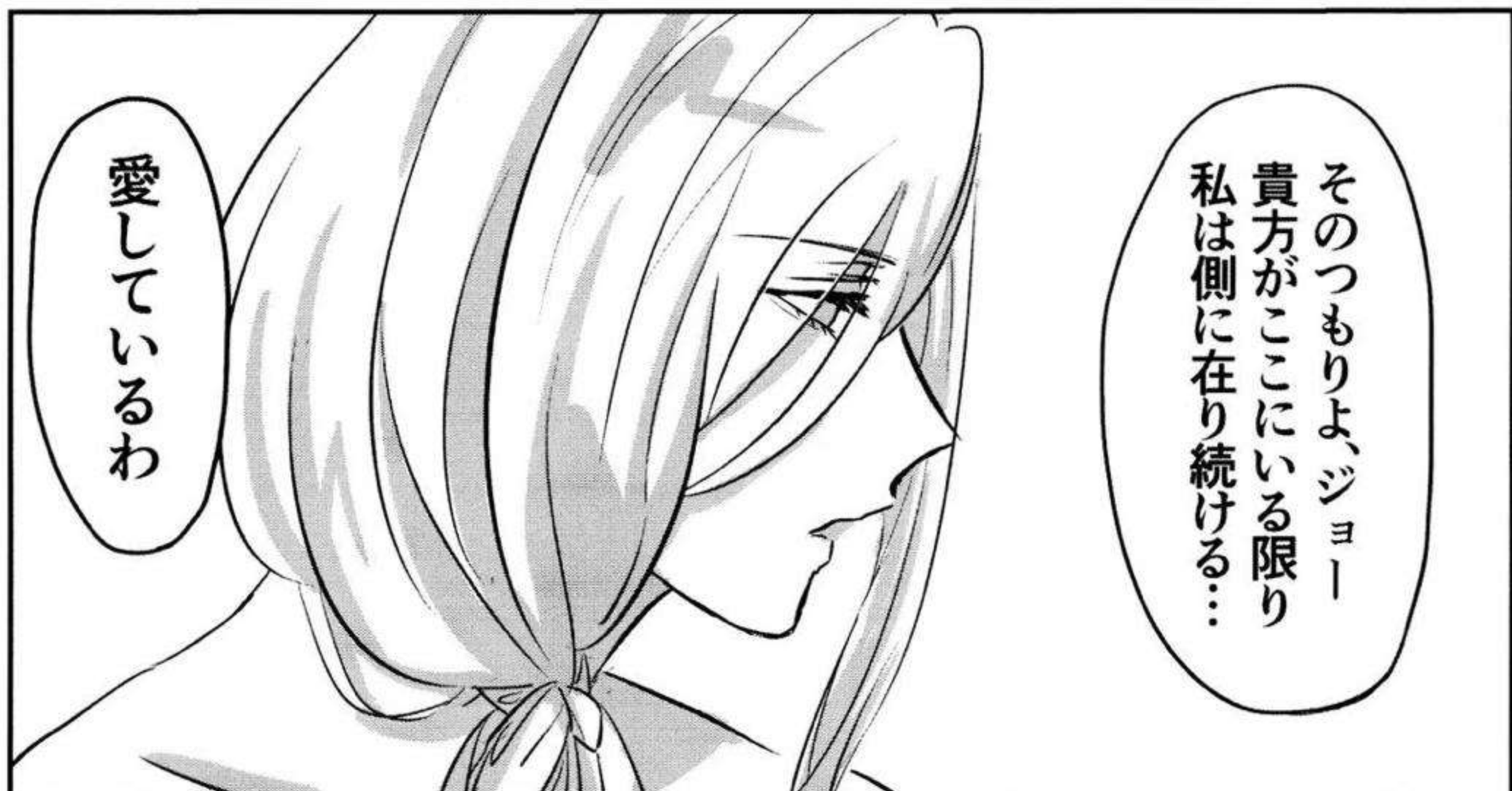
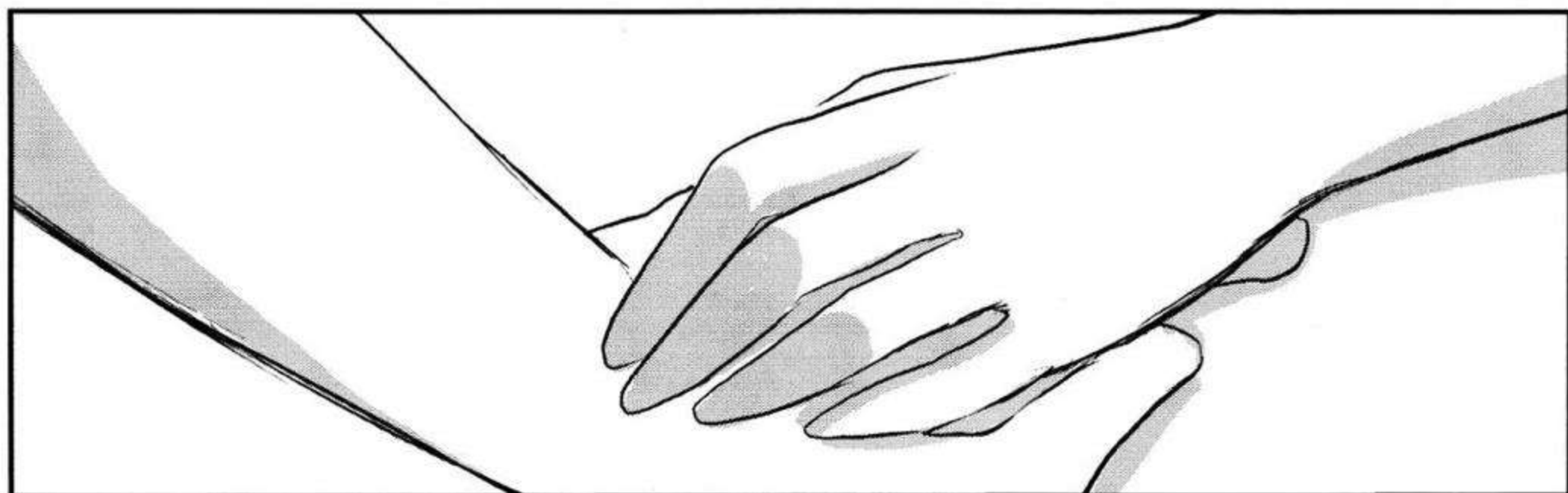
今夜は積極的だね

グッ
グッ

…っ焦らさないで

…クロエ

ここに
荘園にいてくれ
永遠に…私とともに



そのつもりよ、ジヨー
貴方がここに在る限り
私は側に在り続ける…

愛しているわ



サッ



…良い子だね
君は

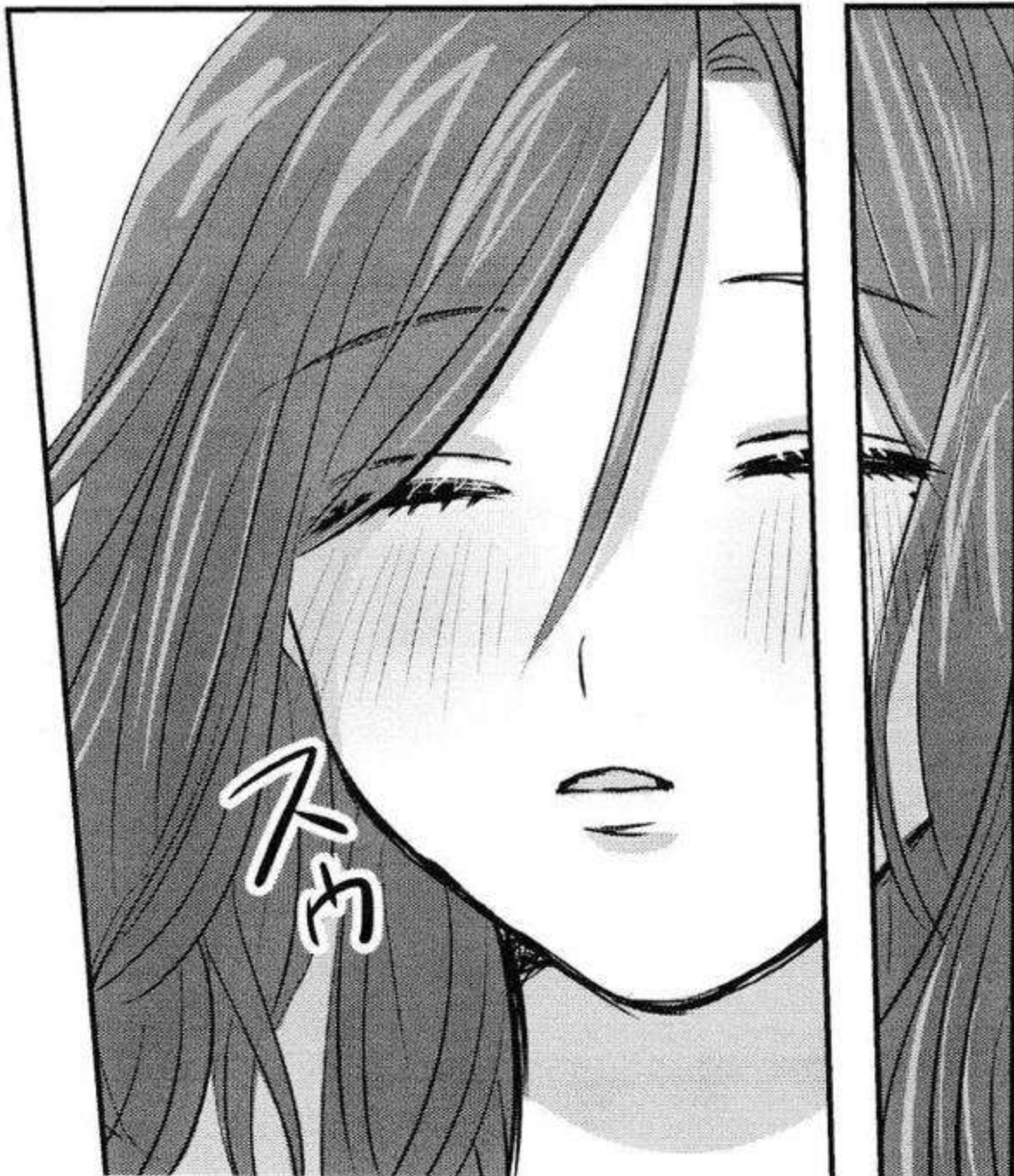


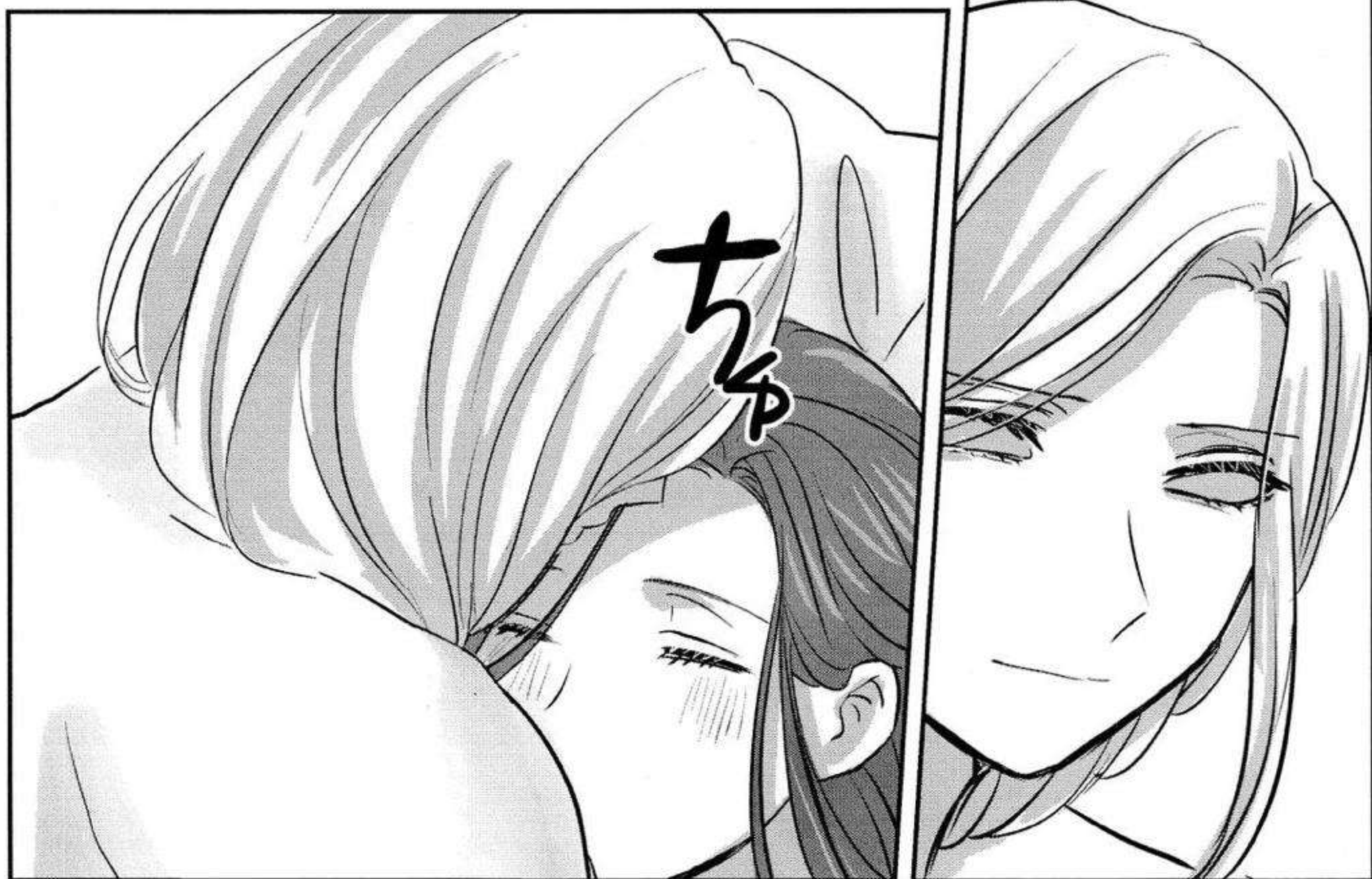
本当に愛おしい
甘くむせ返るような匂い
可愛らしく哭く声

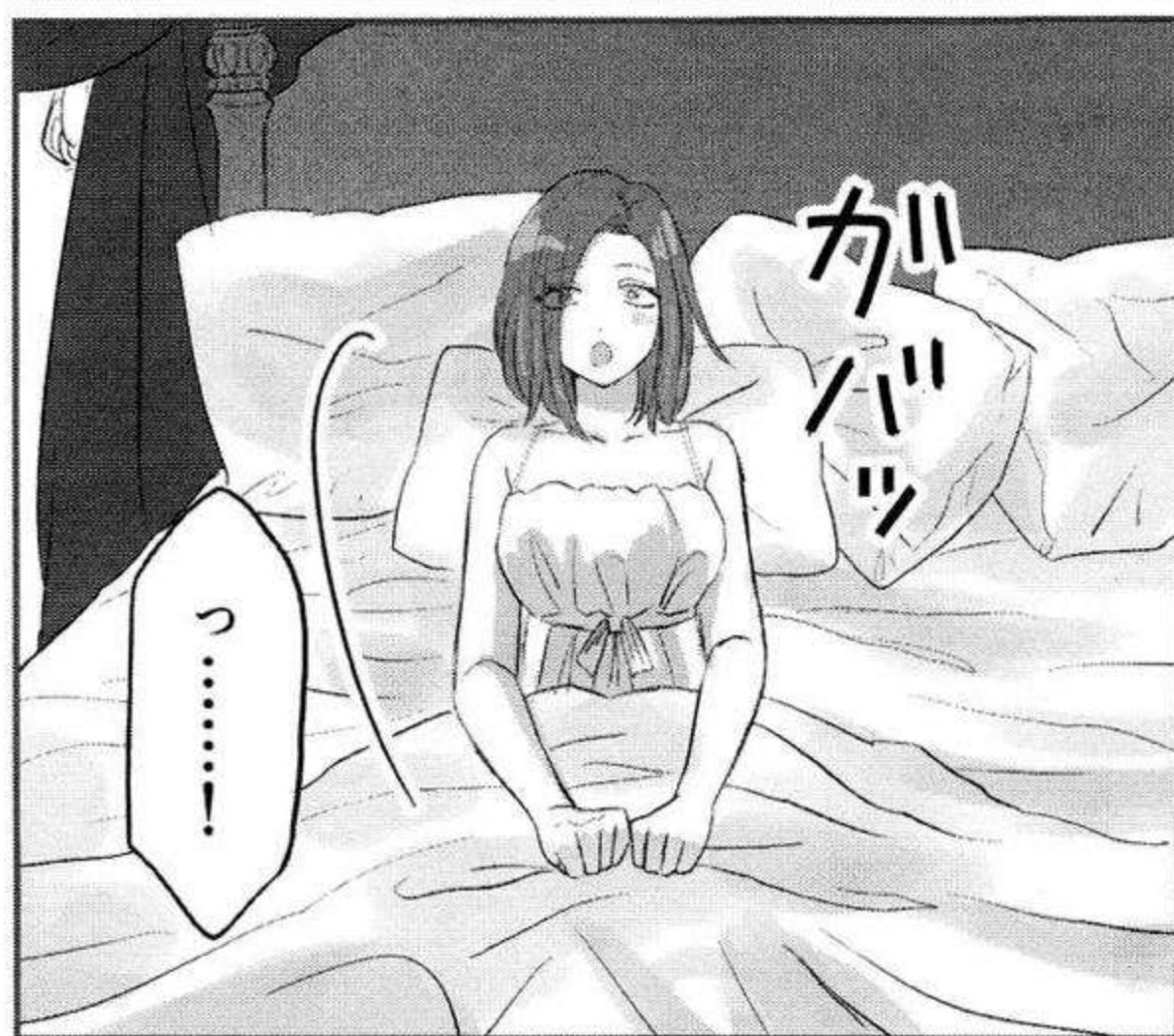


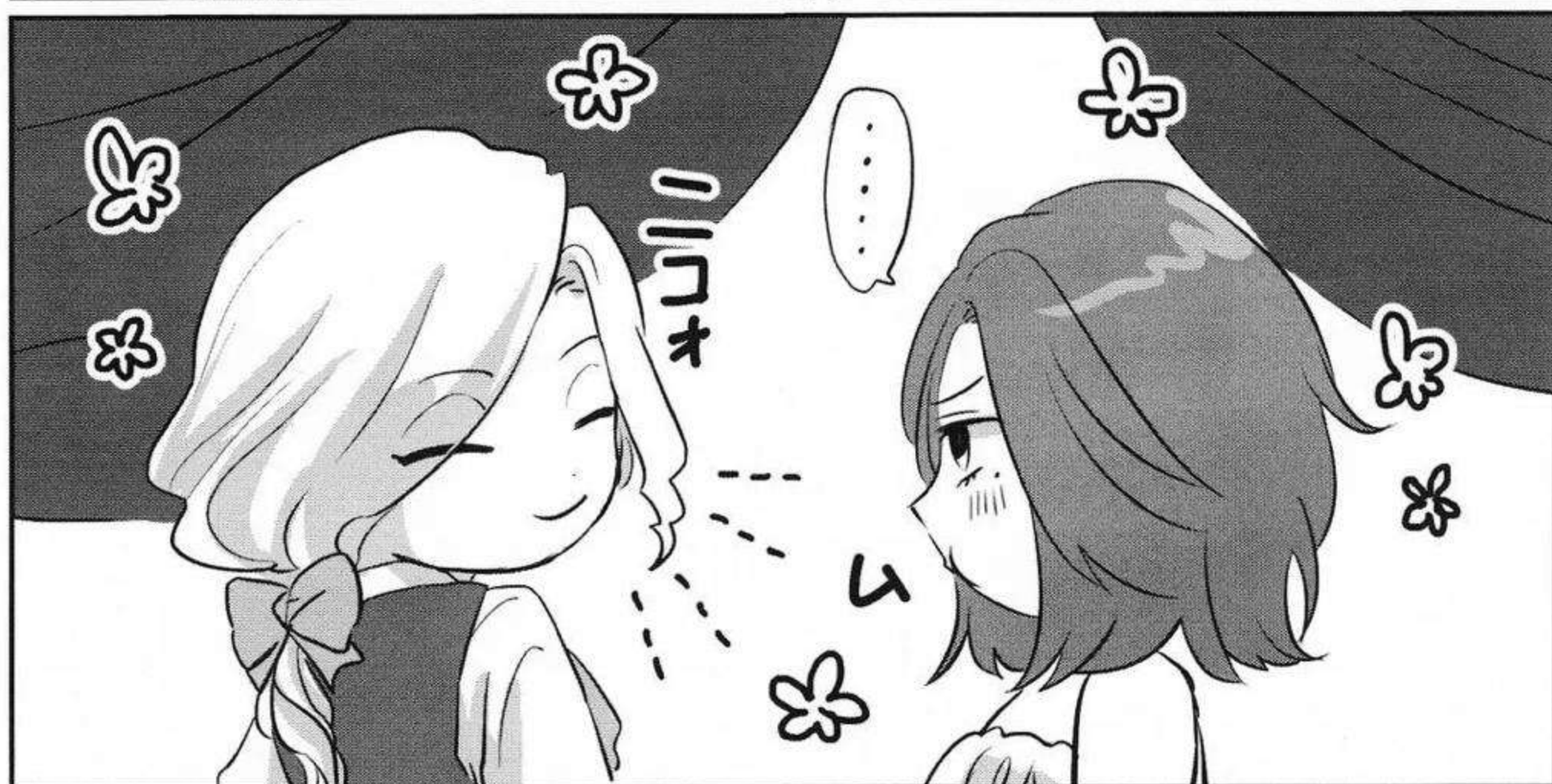
己の感覚全てが
彼女のためにあるか
のような錯覚に陥る程
私を支配している

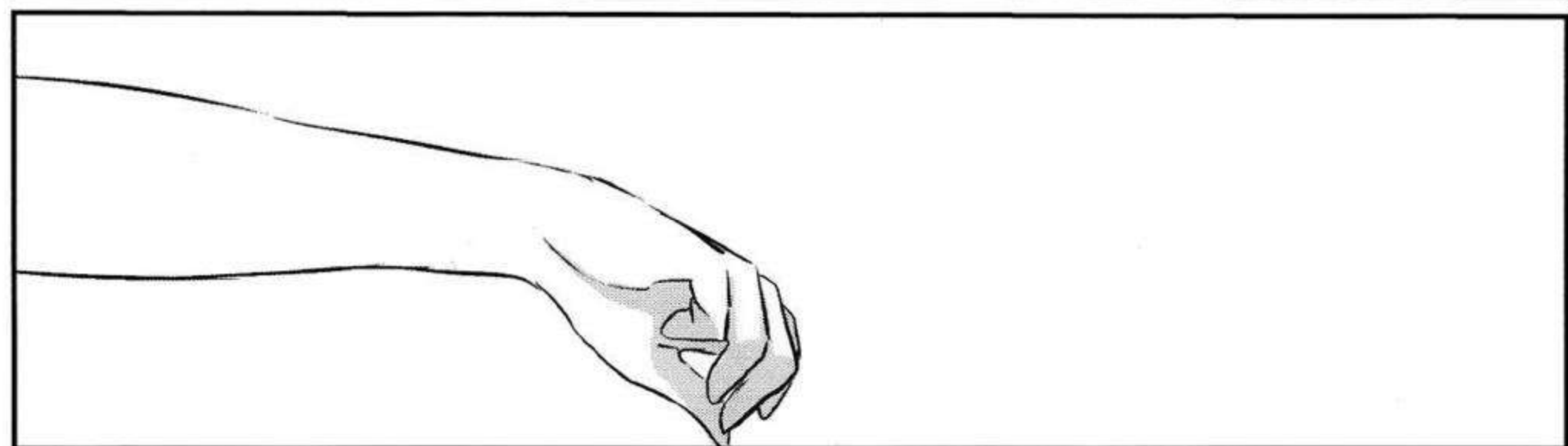
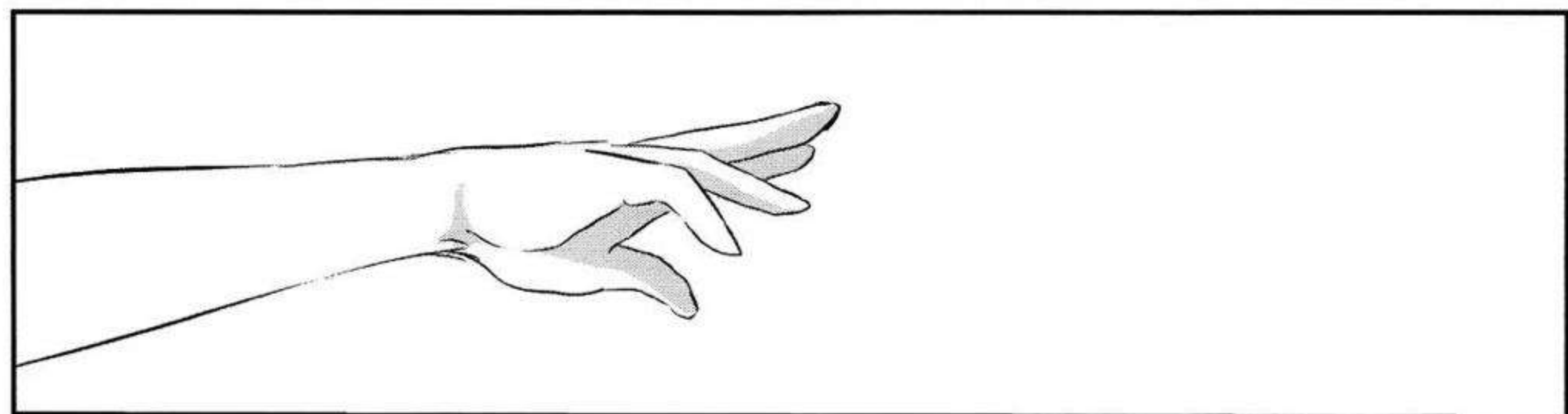
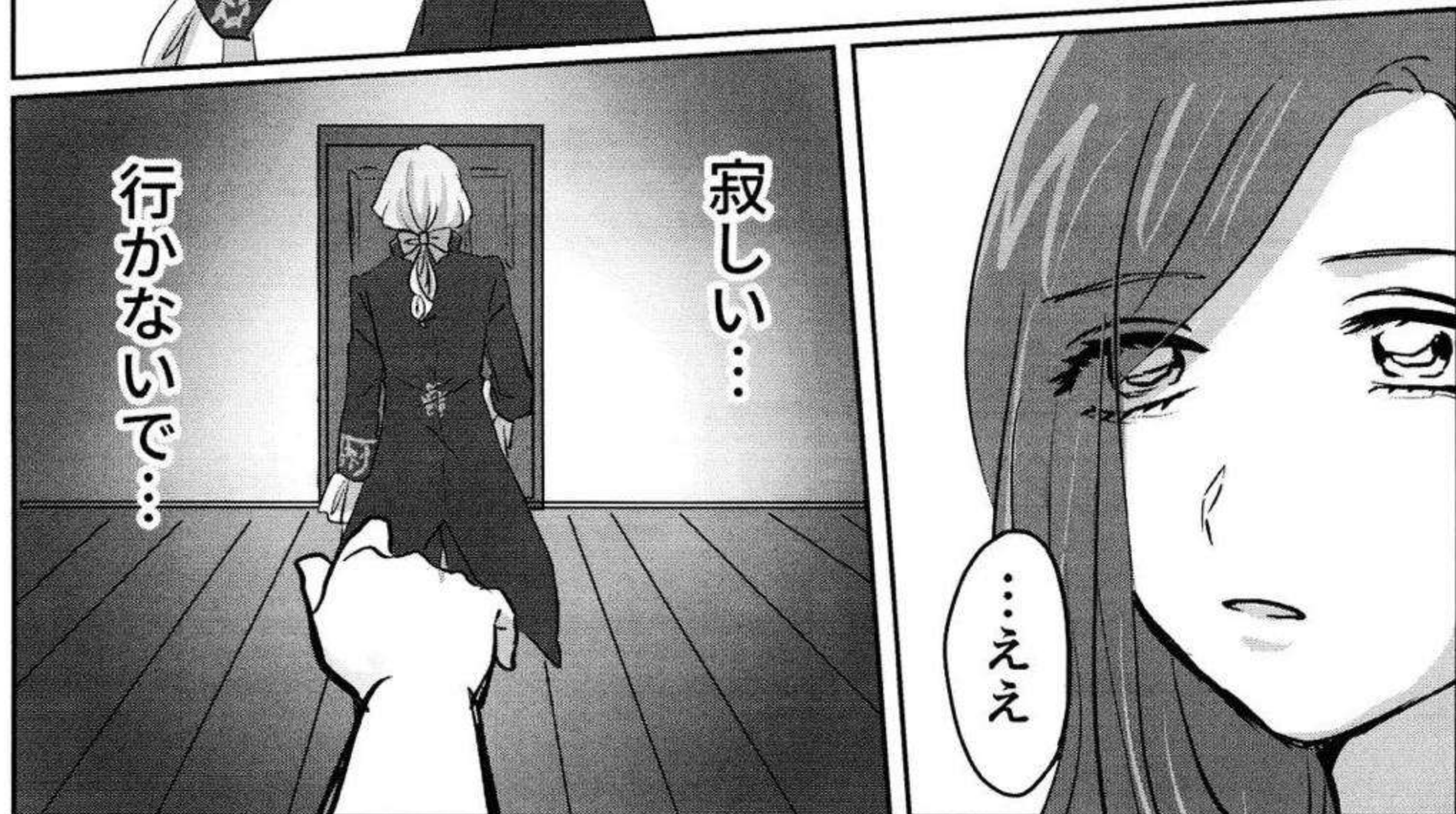




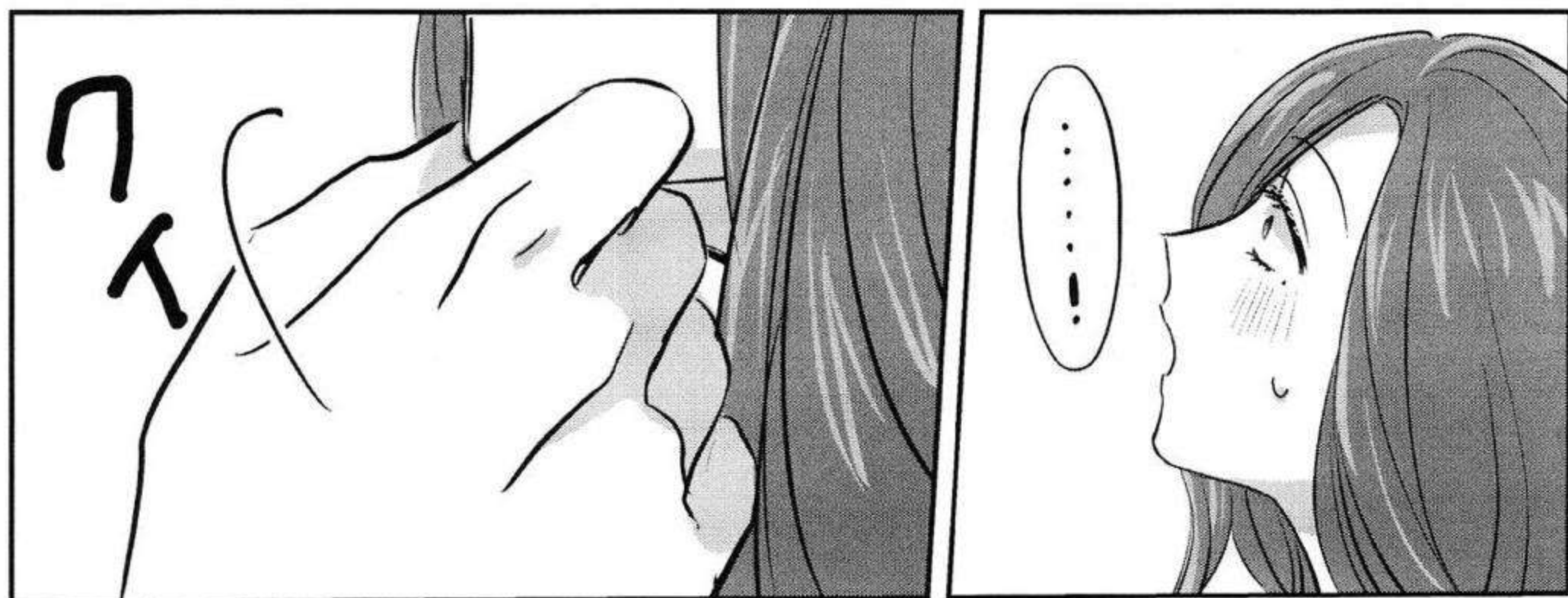


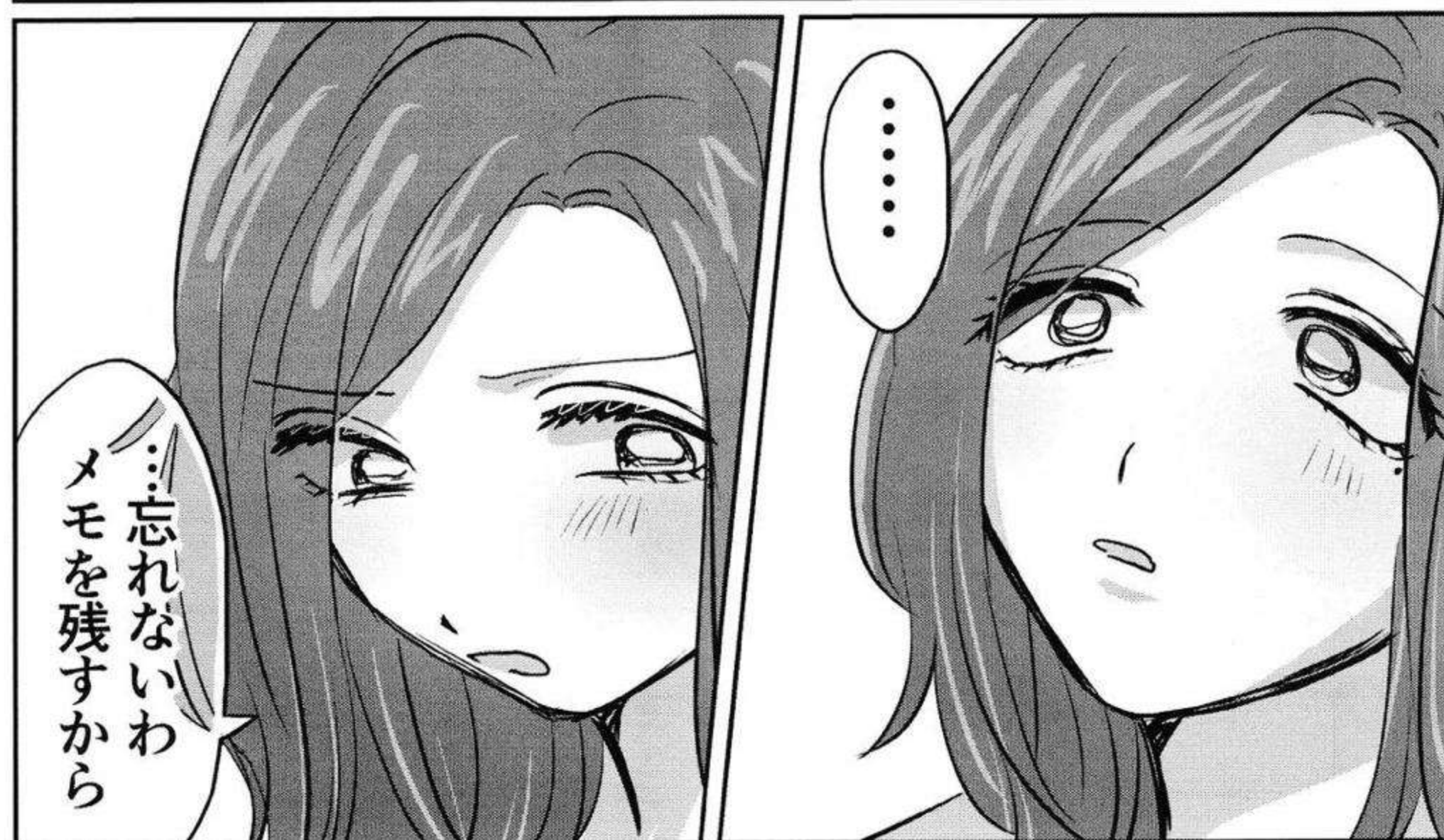
















優しくて太陽のようだった
あなたの輝しい未来を
奪ってしまったことへの
苦しみに比べたら

愛する彼との記憶を
失くしてしまうことは
安い代償……



いいえ、
本当はそうじゃない

ムッ

彼は私の偽りの人生の
中に差し込んだ唯一の光



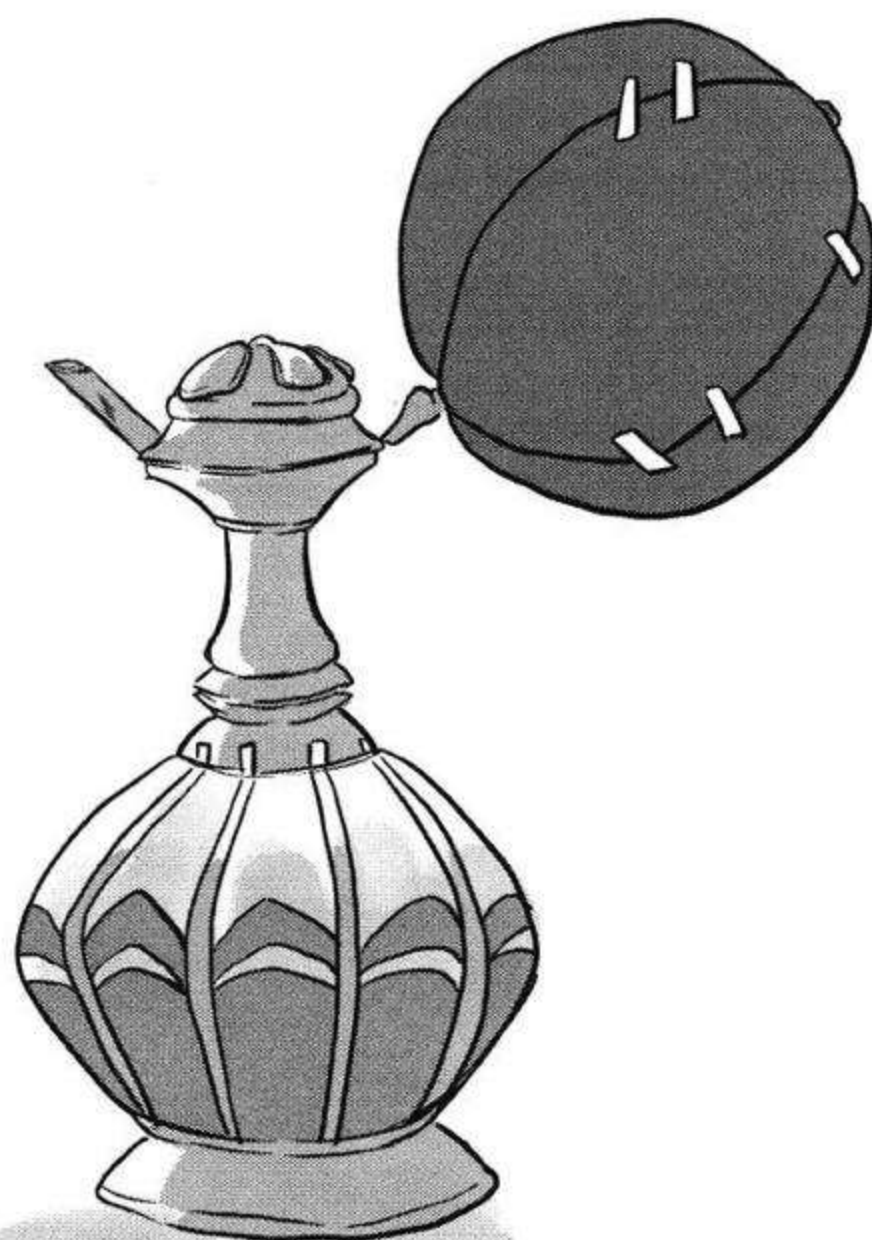
失いたくない

だけど…きつと…
彼ならもう一度私を
愛してくれるはずだわ

やロ…



私はウィラ・ナイエル
あの香水を完璧なものにするまで



あともう少し

あとがき

この度は、Gladiolus.の続編を手にとっていただき本当にありがとうございます！
渾身の初エロ本を手にとってもらえて幸せです！
終始白背景で殴り書き甚だしいですが、本人はとても満足しております(*^_^*)
もしジョゼウイラの固定解釈を持っている方がこの本を読んだら
発狂してることと思いますが、私のなかでもいろんなジョゼウイラがいるので
それはそれ、これはこれで楽しんでもらえると嬉しいです。
人の解釈知るの大好きなので「ちげーよお前！ジョゼウイラはこうだよ！」って
ご意見があればぜひそれを形にしたもので私を殴ってくれると泣いて喜びます。
また、今回この本が無事出せたのも、前回感想を下さったり、楽しみにしていると
伝えてくださったみなさんのおかげです。
諸事情により、おそらくこれが最初で最後のジョゼウイラ本になると
思われますが、ついったでも活動は続けるので
これからもみんなでジョゼウイラを盛り上げていきましょう！！
あ、でもアンソロや合同誌の発刊予定があればオフアー待ってます！笑
ここまで読んでくださり、本当にありがとうございました。
それでは、良いテテゴライフを！！

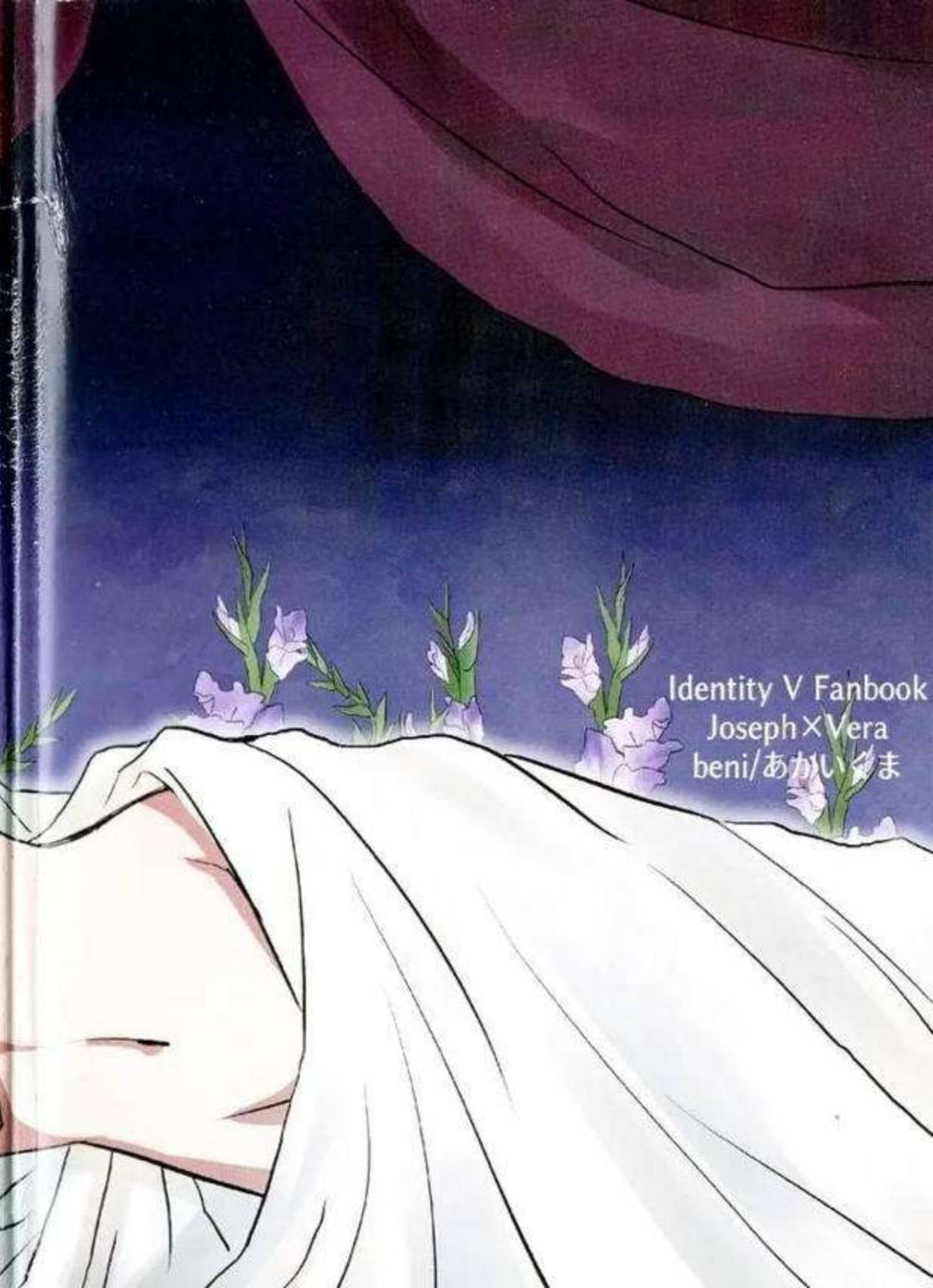
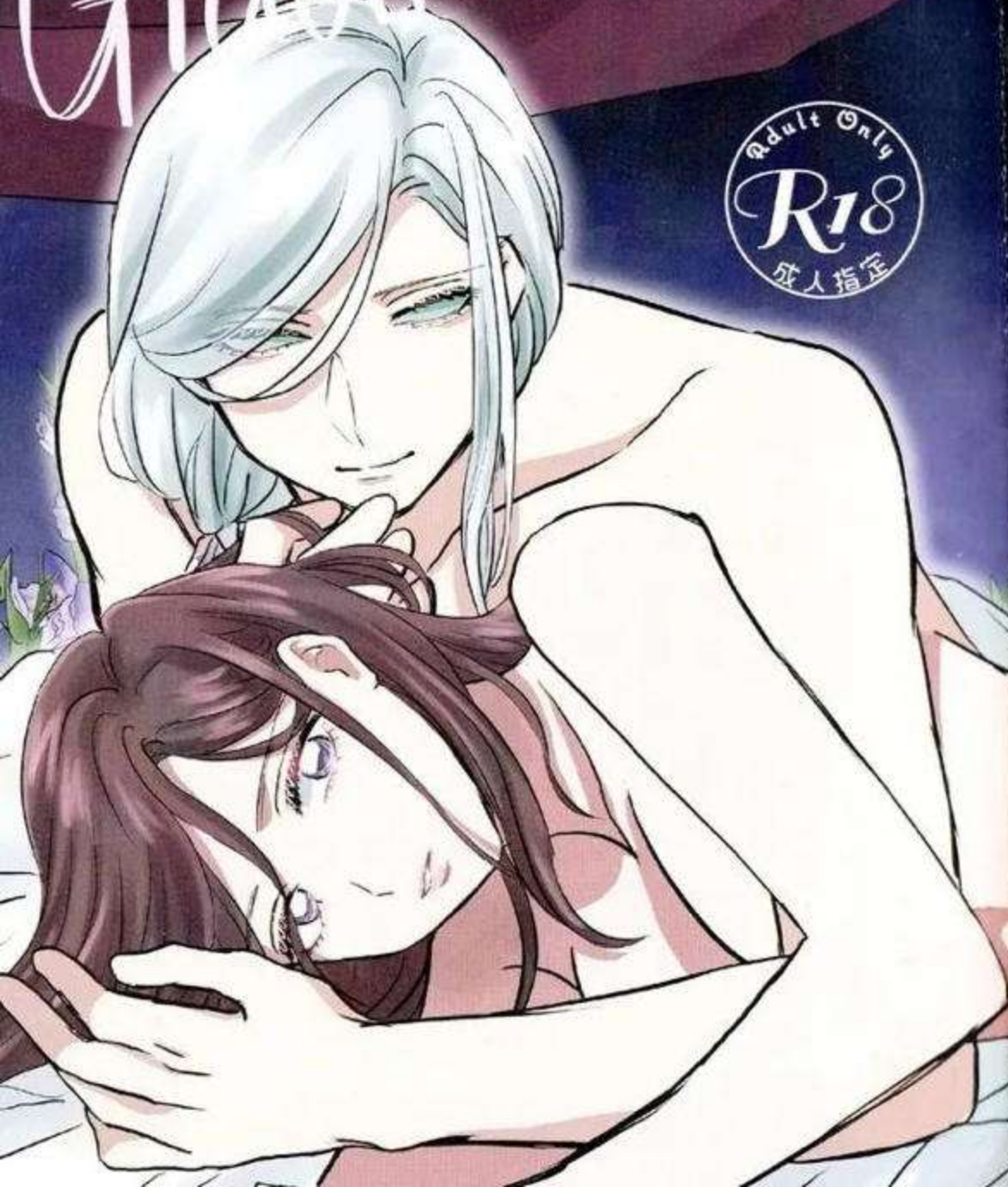
Gladiolus.2/beni(あかいくま)
記憶の庭で鬼ごっこ2 2019年8月25日発刊

Twitter☞@srkrm18
Mail☞k_mata18@yahoo.co.jp
Pixiv☞ID:9319451
印刷☞STAR BOOKS様

**※ネットオークションや
フリマアプリなどへの出品、
無断転載や複製は絶対にやめてください。
その他公式様に迷惑のかかるような行為は
一切禁止致します。
個人個人で楽しむために頒布している
ファンブックですので、不要になった際には
ご自身で責任をもって
燃えるゴミとして処分してください。**

Gladiolus.2

Adult Only
R18
成人指定



Identity V Fanbook
Joseph × Vera
beni/あかいま